

● 新規購入図書紹介

図書名	著者／編集者	出版
地方自治・地方行政		
地方自治小六法 令和8年版	地方自治制度研究会	学陽書房
地方財政		
要求・作成・審議が1冊でわかる予算の見方・つくり方 令和7年版	地方自治予算制度研究会	学陽書房
情報科学		
人間とAI 社会はどう変わるか	友寄英隆	新日本出版社
その他		
問い合わせの技法 明晰な思考と円滑なコミュニケーションのために	佐藤裕	青弓社
豊かな学校給食の「無償化」をめざして 地産地消とオーガニック給食の可能性	朝岡幸彦・渡辺繁博 長谷川敏郎・宮島公香 浅野正富	自治体研究社
数字でみる港湾2025	国土交通省港湾局(監修)	日本港湾協会



秋といえば「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」など、色々な事をするのに良い季節ですね。私は個人的に「音楽の秋」が思い浮かびます。

音楽の中でも私のお勧めは「クラシック音楽」です。

一般的に「クラシック音楽」と聞くと、敷居が高い、上品なものと言う話をよく聞きます。

音楽を聞いてみるとそういうこともなく、癒されたり、感動したり、様々な感情が溢れます。

それと、誰しも一曲くらいは聞いたことがあるのが「クラシック音楽」なのではないかと思います。

クラシック音楽に興味を持ったのは、フィギュアスケートを鑑賞していて、クラシック音楽が沢山使用されていて、こんなに良い曲があるんだな、聞いてみたいなど興味をもったのが始まりです。

お気に入りの作曲家はたくさんいますが、その中でも今回はベートーヴェンをお勧めします。

ベートーヴェンはドイツ生まれの作曲家。祖父、父親ともに音楽家で、ごく自然に音楽教育を受け、22歳でウィーンへ向かい、ハイドンなどに師事しました。

しかし、20代後半、作曲家として自立し始めた矢先に耳がきこえなくなり、一時は自殺を考え、遺書まで書いたものの、音楽家として生き抜くことを決意。数々の傑作を生みだします。

ベートーヴェンのワイルドな髪は地毛であり、また生涯引っ越しを79回もしたことでも有名です。

ジャジャジャジャーンで有名な「交響曲第5番運命」、年末になるとよく耳にする「交響曲第9番(合唱付き)」など、生涯で135曲ほどの作品を発表しています。

私は晩年の作品「ピアソナタ第31番」がお気に入りです。

皆様も是非一度クラシック音楽の世界を試してみませんか。

